

資料 2

自然と人の共生をめざす

エコパークゾーン

Eco Park Zone Guide Book

ガイドブック

(案)

もくじ

はじめに	1
エコパークゾーンって何?	2
御島ゾーン	4
1 香椎海岸(御島崎~香住ヶ丘)	6
2 香椎浜海岸	7
3 アイランドシティの外周緑地	8
4 御島神社	9
海の中の環境づくり(覆砂・作津・アマモ場づくり)	10
香住ヶ丘ゾーン	12
1 香住ヶ丘海岸に広がる岩礁帯	14
2 牧の鼻照葉樹林	15
3 香住ヶ丘緑地	16
4 香住ヶ丘海岸の親水護岸	16
5 アイランドシティの護岸と潮だまり	17
和白干潟ゾーン	18
1 和白干潟	20
2 海の広場から唐原川河口にかけての海浜植物群落	21
3 雁の巣鼻	21
4 塩浜海岸(護岸・遊歩道・展望台)	22
和白干潟の楽しみ方	23
干潟や磯浜に行く前に	26
コラム「アオサのお話」	27
コラム「みんなで守り育てるエコパークゾーン」	28
海の中道ゾーン	30
1 海の中道海岸	32
2 まみずピア	32
3 雁の巣レクリエーションセンター	33
環境保全活動に参加しよう!!	34
エコパークゾーンの歴史	35
エコパークゾーンの生きもの図鑑	37

はじめに



このガイドブックは、私たちが現地の状況を調べた際に、大都市の中にありながら、このように自然が豊かで、すばらしい風景が見られる場所があったのかと感じた驚きを、市民の皆さんには是非ともお伝えし、共有したいとの思いから作成始めたものです。

潮の香りのする緑美しい海辺での散策やエコパークゾーンで命をつないでいる生きものとのふれ合いなど、思い思いの過ごし方の中で、新たな気づきや発見があるかもしれません。このガイドブックを携えて、エコパークゾーンに出かけてみませんか。

さらに、この魅力あふれるエコパークゾーンの環境を、みんなで力をあわせて次の世代にいい形で残していくたい。そんな願いも込めました。

エコパークゾーン環境保全創造委員会 委員一同



エコパークゾーンって何?

エコパークゾーンとは、下の図に示すように、博多湾東部のアイランドシティ周辺の海や海岸を含むエリアのことです。面積は約550ヘクタールあります。

ここには、毎年多くの渡り鳥が飛来している広大な和白干潟があり、国の鳥獣保護区にも指定されています。干潟や浅海域には、鳥類だけではなく、稚魚やカニなど多種多様な生きものが暮らしており、博多湾の豊かな自然を支える「命のゆりかご」の役目を果たして

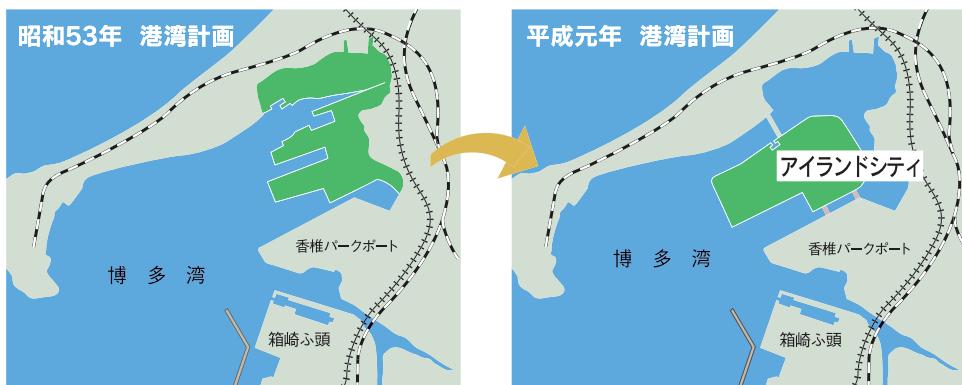
います。

このように、エコパークゾーンは、145万都市・福岡市にありながら、潮干狩りや散策、バードウォッチングなどが手軽に楽しめ、美しい景色や身近な自然とのふれあいの場を提供してくれる市民の財産ともいいうべき価値ある空間です。



これまでの経緯

平成元年の港湾計画で、博多湾東部の海や海岸、和白干潟などの自然環境を保全するため、これまで陸続きであった埋立計画を島方式に変更しました。これにより保全された空間を「自然と人の共生をめざす～エコパークゾーン」と位置づけました。



4つのゾーン

エコパークゾーンは、広大で様々な地域特性を有していることから、4つのゾーンに分けて、地域ごとの特色を活かしながら自然環境の保全・創造に向けた様々な取組を行っています。





御島ゾーン

MISHIMA

かしいぐう
御島ゾーンは、香椎宮の末社で日本書紀にある神功皇后ゆかりの御島神社の鳥居を海上に見ることができるなど、歴史的景観が残された場所となっています。

二年に一度行われる香椎宮「春季氏子大祭・神幸式」御汐井取りの神事を香椎海岸で見ることもできます。

このゾーンでは、これまでに気軽に海にふれ親しめ、豊かな自然が体感できる憩いの空間となるよう海岸や海域を整備しており、多くの人々が集まるにぎわいの場となっています。

さらに、アイランドシティと香住ヶ丘を結ぶ海上遊歩道を整備中で、これが完成すると、御島ゾーンをぐるっと一周約3kmまるごと楽しめます。自然観察、ウォーキング、ジョギングなどに最適です。



アイランドシティの外周緑地



香椎浜海岸



歴史的要素を活かした憩いのゾーン

【この地域への交通アクセス】

●「香椎海岸」・「香椎浜海岸」へは

- ・西鉄貝塚線「西鉄香椎」下車 徒歩約10分
- ・西鉄バス「留学生会館前」下車 徒歩約3分
- ・西鉄バス「香椎浜営業所」下車 徒歩約3分

●「アイランドシティの外周緑地」へは

- ・西鉄バス「アイランドシティ中央公園前」下車 徒歩約8分



香椎海岸(香住ヶ丘)



香椎海岸(御島崎)



1 香椎海岸(御島崎～香住ヶ丘)

御島ゾーンの海岸線は、海に近づきにくい垂直の護岸となっていたり、浸食が進んでいたことから、傾斜の緩やかな護岸や砂浜の整備など、水辺に親しめる海岸づくりを行っています。今では、多くの方々が憩いの空間として利用しています。

御島崎



整備前

海に近づきにくい護岸



整備後

海を身近に感じ、ふれ親しめる海岸線になりました。

香住ヶ丘



整備前

浸食が進んだ海岸



整備後

海岸部を保全し、景観も美しくなりました。

植物や生きものを探してみよう



【コメツキガニ】



【ハマヒルガオ】

砂浜などに生息するカニで、エサを食べて残った砂を小さな団子状に丸めて巣穴の周りに並べる習性があります。巣穴と砂団子をたよりに見つけてみよう!!

砂浜を生育環境とする植物で、春にかわいい花を咲かせる多年草です。

春がきたら階段に広がった緑を目印に花を探してみよう!!

2 香椎浜海岸

香椎浜の前面には、万葉集にもうたわれている香椎潟が広がり、たくさんの海の生きものや野鳥がいのちを育む場所となっています。また、海上の御島神社の鳥居を間近に臨むこともでき、歴史や自然を感じられる場所となっています。

香椎浜北公園前面の護岸は、野鳥や干潟にすむ希少種のハクセンシオマネキ、潮間帯にすむ貝などの生きものに配慮した構造とともに、歴史的要素を活かした整備を行っています。

香椎浜



整備前



香椎浜北公園や遊歩道、護岸の整備を行っています。

こんなところをチェックしよう!!



[ハクセンシオマネキ]

オスは片方のハサミが白く巨大化しています。この大きなハサミを振る求愛行動が、白扇を広げて潮を招いているかのように見えることから、この名前が付いたとされています。

歴史や生きものの紹介



「万葉集にみる香椎潟」や干潟の生きもの、野鳥を紹介した看板もあります。

干潟の生きものや野鳥の視点にたって整備しました。
よく見てみると色々な形をしています。

① 野鳥

護岸の近くで食事や休憩をしているから、怖~い人間が近づきにくい護岸にしてね!!

② ハクセンシオマネキ

僕たちが生活している干潟の部分には、入らないように工夫して工事をしてね!!

③ その他の生きもの

僕たち潮間帯で生活する生きものには、凹凸がたくさんある自然の石を使った護岸や、緩やかな傾斜の護岸で面積を大きく造ってくれると生活しやすくな~!!

保全した松



香椎浜の海岸沿いに植えられていた松を、整備の際に香椎浜北公園内に残して保全しました。



3 アイランドシティの外周緑地

アイランドシティの外周には、自然石を使った緩やかな傾斜の護岸を整備し、海の生きもののすみかともなっています。また、海沿いには緑地と遊歩道を整備し、周辺の自然環境との調和を図るなど、水と緑に囲まれた快適なまちづくりを進めています。

まずはこの看板を探そう!!



アイランドシティ入口の看板

こんな所にも「みどり」があるんだ…



屋根を緑化したトイレ

お弁当を食べながら景色を楽しもう!!



緑と水に囲まれた遊歩道



海と緑が眺望できる休憩場



左上:海上に張り出した親水デッキ

右下:生きものが利用しやすい自然石の外周護岸

海上遊歩道



※これはイメージ図で、実際に整備されるものとは異なります。

御島ゾーンは、親水護岸や養浜・遊歩道等の整備により、多くの方が利用される親水空間となっています。

アイランドシティと香住ヶ丘等



の既存市街地をつなぎ、この海域を周回できる回遊ルートを整備することで、さらに魅力を増した親水空間となることが期待されます。



4 御島神社



御島神社は香椎宮の末社の一つであり、神功皇后が神事を行ったとされる地に社を祭ったのが始まりのようです。

古くは岩が多く、海上高くに社がありました。その後、岩が崩れ、現在のように平坦になり、北側の岩礁に祠があるほか、南側の岩礁には石の鳥居が立っています。

御島の由来を探そう

御島は神功皇后が神事を行った所として「日本書紀」・「八幡本紀」などで伝えられています。



この看板を探しに香椎海岸へ出かけよう!!



2年に1度の御汐井取りです。
生で見たいワンシーン!!



写真提供:香椎タウンストーリー 柳瀬英昭氏

夏の風物詩といえば…

夏と言えばやっぱり東区花火大会ですね。毎年8月末～9月初旬に行われています。夏の思い出づくりにぜひ、見に来てね。

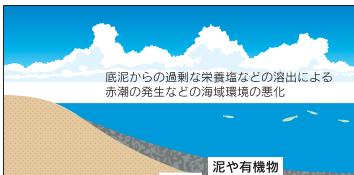




海の中の環境づくり

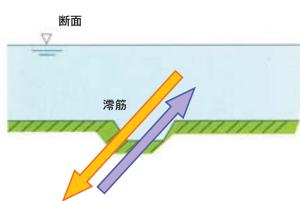
M
I
S
H
I
A

覆砂



海底に堆積した泥を良質な砂で覆うことにより、生きもののすみやすい環境を創造する工法です。

作瀬



海底に水の通り道となる溝(瀬筋)を掘ることにより、海水の交換を促進し、水質や底質を改善する工法です。



凡 例

■ 覆砂: 15.6ha

■ 作瀬: 1.3km

■ アマモ場: 2,650m²

覆砂・作瀬を実施した海の中は、こんなにきれいになって、たくさんの種類の生きものが見られるようになりました。



整備前

濁った海底



整備後

澄んだ海底とクサフグ



整備前



整備後



アマモ場づくり

アマモは砂泥質の浅い海に育ち、海中に酸素を放出するとともに、魚介類の産卵場や生息場になるなど「海のゆりかご」とも言われ、生きもののすみやすい環境を創出する効果がある植物です。

また、二酸化炭素を吸収する役割も持っています。



約80cmに生長



コウイカ



アマモ場に集まるウミタナゴの群れ

海の生きものがたくさん集まるアマモ場となりました。



アマモに産み付けられたコウイカの卵

■ 地元小学校との連携・共働 きょうどう



小学生によるアマモ場づくりの準備



アマモの生長の確認や海の生きものにふれる観察会

自然にふれ、学び、豊かな海づくりに頑張る子供達です。



御島海域周辺でたくさんのアマモの群落が再生





香住ヶ丘ゾーン

KASUMIGAOKA

香住ヶ丘ゾーンには砂浜も見られますが、エコパークゾーンの中でも珍しい磯浜が広がっており、イソガニなど磯浜特有の生きものが見られます。そして背後には、照葉樹林が広がる牧の鼻公園などの緑地があり、緑あふれる景色を楽しむことができます。

また、アイランドシティでは人が海とふれあいやすいように階段式の護岸や潮だまりも整備しており、市民憩いの散策路になっています。

KASUMIGAOKA

香住ヶ丘ゾーン遠景

アイランドシティより撮影



平成21年5月撮影



アイランドシティの緑地と遊歩道(対岸は香住ヶ丘海岸)



アイランドシティ

香椎照葉二丁目

香椎照葉一丁目

【この地域への交通アクセス】

●「牧の鼻公園」へは

- ・西鉄バス「牧の鼻公園前」下車 すぐ
- ・西鉄貝塚線「香椎花園前」下車 徒歩約15分

●「香住ヶ丘海岸」へは

- ・西鉄バス「香住ヶ丘五丁目」下車 徒歩約3分
- ・西鉄貝塚線「香椎花園前」下車 徒歩約15分

●「アイランドシティの外周緑地」へは

- ・西鉄バス「アイランドシティ中央公園前」下車 徒歩約8分





1 香住ヶ丘海岸に広がる岩礁帯



香住ヶ丘南側の岩礁帯



岩礁で休息するチュウシャクシギなどの野鳥



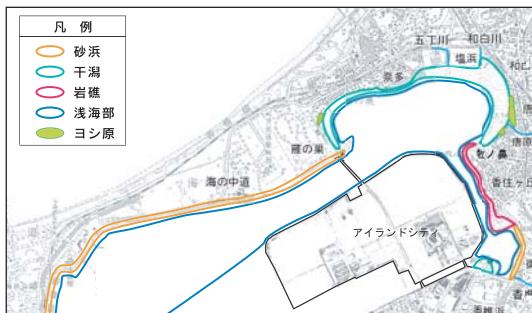
牧の鼻周辺の岩礁帯



岩礁に付着したフジツボ



エコパークゾーンの海岸環境の分布



クイズ

鳥にとっての岩礁帯

右の写真にあるように、岩礁は鳥にとって貴重な休息場となっています。満潮時には周りが海に囲まれるため他の動物から襲われにくくなります。さらに、羽の色が岩肌と同じような色をした小型の鳥は、ハヤブサなど上空から襲ってくる敵からも身を守ることができます。そのため、これらの鳥は、身動きせずに、じっと休息しています。

右の写真には何羽の鳥が写っているか分かれますか?よく見てみてください!



●正解はP29の下部を見てね!!

2 牧の鼻照葉樹林



牧の鼻公園一体は照葉樹林地となっており、海から牧の鼻の高台まで緑がつながっています。一部は特別緑地保全地区にも指定されています。

このような海岸の斜面にある森林は、海面に森林の影が映ることなどにより魚が集まる効果があり、“魚付林”と言われています。



牧の鼻の高台が「牧の鼻公園」です。公園に入ると、360度緑に囲まれるため、海の近くにいることを忘れそうになりますが、アカテガニが土手の巣穴や木の根元などに潜んでおり、海に近いことを思い出させてくれます。



木の根元に潜むアカテガニ



ハマボウの木



海辺には
ハイビスカスの
仲間のハマボウも
自生し、7月には美しい
花を楽しませてくれます。



3 香住ヶ丘緑地



香椎海岸のすぐそばにある濃い緑の塊が香住ヶ丘緑地です。ここも牧の鼻と同様に特別緑地保全地区に指定されています。

また緑地の一部では、遙か太古をしのばせる地層があらわれているところがあります。

4 香住ヶ丘海岸の親水護岸



遊歩道脇にあるハクセンシオマネキの石像

斜面が崩落していた一部の海岸では、安全性を高めるとともに、海岸に親しんでもらえるよう、階段式の自然石を使った護岸と遊歩道を整備しました。整備後には、磯遊びや潮干狩りをする人も見られるようになりました。

香住ヶ丘海岸



整備前



整備後

木杭等で崩落を防止していた海岸線

人が海とふれあえて見た目も美しい海岸線